

21-08-27

山間部過疎地域でドローン物流の実証実験を実施します

名古屋鉄道は、山間部過疎地域での配送の効率化や災害時における道路遮断といった物流課題解決を目的に、地域の宅配を担っている生活協同組合コープあいちと連携し、新城市においてドローン物流の実証実験を実施します。

詳細は下記のとおりです。

記

1 実施体制

- 事業名：「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業」
(一般財団法人環境優良車普及機構の補助金事業)
- 実施事業者：名古屋鉄道株式会社、新城市、豊川市
- 協力事業者等：生活協同組合コープあいち（宅配との連携）
株式会社プロドローン（機体運航）
中日本航空株式会社（3D マップ提供）
宇都宮工業株式会社（ドローン遮熱配送ボックス提供）
東三河ドローン・リバー構想推進協議会（地元調整、実験支援）
※新城市、豊川市を事務局としたドローンに関する官民協議会

2 実施予定日

9月10日（金）11:00 から ※荒天の場合は予備日に順延

予備日：9月17日（金）11:00 から

3 実施内容

| | |
|------|--|
| 実証地域 | 新城市布里地区(旧鳳来西小学校～配送宅) 豊川・巴川上空 2.2km |
| 実験内容 | 配送の効率性、ドライバー不足、自動車による CO ₂ 排出、豪雨等による道路遮断・集落孤立等の課題を踏まえ、宅配トラックの配送の一部をドローンに代替することを想定し、主に河川上空を活用して注文された商品をドローンが配送します。GPS や LTE 通信を使用した自律飛行にて行います。 |



使用ドローン イメージ(PRODRONE)

<ドローン機体の概要>

サイズ:2169×2387×551mm

機体重量:20kg

最大積載量:30kg

最高速度:60km/h

以上

本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023 年度)の重点テーマに掲げる「今後成長が見込まれる分野の収益力強化による収益構成の見直し」の「先端技術を活用した取組みの推進」の一環として取り組むものです。